

## 記念物(名勝)

### べっふ じごく 別府の地獄

鉄輪 野田 個人所有

国指定名勝（温泉）

平成 21 年 7 月 23 日指定

別府では、独特の色彩・形態の下に湧出する一群の泉源が存在し「地獄」と呼ばれ親しまれてきた。その中でも血の池地獄、海地獄、龍巻地獄、白池地獄の4つは、今日の別府を代表する地獄として有名である。

8世紀の『豊後国風土記』をはじめ、17世紀末期に貝原益軒が著した『豊国紀行』、18世紀初頭に寺島良安が編纂した『和漢三才図会』には、真っ赤に染まる「血の池地獄」や青藍色を呈する「海地獄」に関する記述が見られる。近代になると、従来地獄に加えて新たな地獄の掘削が行われ、大正12年（1923）には間欠泉である「龍巻地獄」が、昭和6年（1931）には白濁した温泉水の「白池地獄」がそれぞれ誕生した。これらの一群の泉源を周遊する「地獄めぐり」が始まり、やがて別府における景勝遊覧の要として宣伝されるようになった。これらの4つの地獄は、日本古来の温泉地として名高い別府の中でも、独特で多様な色彩・形態の下に湧出する観賞上の価値、名所的・学術的価値の高い泉源である。



（事務局）